

教育未来創造会議ワーキング・グループ骨子（案）

I. 基本理念

II. 基本的考え方

1. ありたい社会像
2. 目指したい人材育成のあり方

III. 具体的方策

1. 未来を支える人材を育む大学等の機能強化
 - (1) 産学官で取り組む人材育成のあり方の明確化
 - (2) 今後の我が国の成長に向けて特に重点を置く分野に関する大学等の機能強化
 - (3) 文理横断教育・大学院教育の強化
 - (4) 女性の活躍推進
 - (5) グローバル人材の育成強化
 - (6) 産学官の協働による人材育成機能強化
 - (7) デジタル技術を駆使したハイブリッド型教育の転換
 - (8) 大学法人のガバナンス強化
 - (9) 初等中等教育の充実
2. 新たな時代に対応する学びの支援の充実
3. 学び直し（リカレント教育）を促進するための環境整備
 - (1) 学び直し成果の適切な評価
 - (2) 学ぶ意欲がある人への支援の充実や環境整備
 - (3) 企業・教育機関・自治体等の連携による体制整備

これまでの主な意見の整理（案）

I. 基本理念

- ・日本の社会と個人の未来は教育にあり
- ・教育のあり方の創造、教育による未来の個人の幸せ、社会の未来の豊かさの創造
- ・人は国家なり、人の価値が産業・経済の源泉、教育投資の重要性、生きている限りずっと学び
- ・生きていく力と柔軟な知を育む教育
- ・少子高齢化に対処するための生産性の向上
- ・働くことと学ぶことのシームレスな連携

II. 基本的考え方

1. ありたい社会像

- ・コミュニティ全体として全員で一人一人の多様な幸せと社会全体の豊かさ（ウェルビーイング）を実現
- ・多様な人材が能力を最大限発揮でき、適切に評価される社会（ジェンダーギャップ指数の改善、貧困・社会的分断の改善、グローバル化の一層の進展）
- ・国民全体のデジタルリテラシーの向上
- ・地球規模の課題である脱炭素社会の構築、再生可能エネルギーの活用、SDGsへの貢献
- ・労働生産性の向上による稼ぐ力（付加価値創造）の強化
- ・地域産業・地域経済の活性化
- ・生涯能力開発社会、生涯学習社会の実現

2. 目指したい人材育成のあり方

- ・好きなことにのめりこむ、自ら課題を設定し、深く掘り下げ、課題を解決する、ビジョンをつくり上げることができる人材の育成
- ・夢を描いて技術的に解決し、パッケージングできる人材の育成
- ・主体性、多様性、創造性、共感力のある人材の育成
- ・デジタル、人工知能、量子、グリーン（脱炭素化など）、農業、観光など科学技術や地域振興の重点分野をけん引する人材の育成
- ・グローバルに活躍できる人材の育成
- ・地域課題を解決できる人材、エシカルな行動ができる人材の育成、アントレプレナーシップの涵養

- ・予測不可能な時代に必要な文理の壁を超えた普遍的知識・能力を備えた人材の育成
- ・理工系を専攻する女性の増加
- ・高い付加価値を生み出す修士・博士人材の増加
- ・幼児期・義務教育段階から企業内までを通じた人への投資強化
- ・すべての子供が努力する意思があれば学ぶことができる環境整備
- ・一生涯学び続ける意識、学びのモチベーションの涵養
- ・年齢、性別、地域等にかかわらず誰もが学び活躍できる環境整備

Ⅲ. 具体的方策

1. 未来を支える人材を育む大学等の機能強化

(1) 産学官で取り組む人材育成のあり方の明確化

- ・未来を見据えた産学官が目指すべき人材育成の大きな絵姿の提示
- ・産業界、地域で必要とされる具体的な人材像、学びニーズの提示
- ・地域ごとの産学官による対話の場の設置

(2) 今後の我が国の成長に向けて特に重点を置く分野に関する大学等の機能強化

- ・学部や修士・博士課程の再編・拡充など重点分野をけん引する人材育成の促進（設置要件の見直し、先導的に再編等に取り組む大学等への支援重点化など）
- ・社会人向け教育の充実・強化（共同講座設置支援の拡充など）
- ・高専、専門学校、大学校、専門高校の機能強化
- ・地域における大学の充実強化と自治体の取組への支援

(3) 文理横断教育・大学院教育の強化

- ・人文社会科学と自然科学との融合による総合知創出（人社系における理数教育、理工農系における人社教育の充実・強化、ダブルメジャーの促進など）
- ・論理的思考力と規範的判断力を磨き、課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力を身につけるリベラルアーツ教育の強化、基礎素養としてのデータサイエンス等履修促進
- ・博士課程学生の研究環境改善と多様化するキャリアパスに合わせた教育内容の改善（専門分野の深掘り、新規分野の開拓のみならず、政策立案、産業育成、企業経営のできる博士人材の育成、等）

(4) 女性の活躍推進

- ・理工系を学ぶ女性増など女性活躍プログラムの強化(女子学生枠の確保等のポジティブアクションなど)
- ・女子中高生の理系選択者の増加に向けた取組の推進(大学の出前講座、中高における理数教育の充実、ロールモデルに出会う機会充実など)

(5) グローバル人材の育成強化

- ・コロナ禍で停滞した国際的な学生交流の建て直しと産学官をあげてのグローバル人材育成

(6) 産学官の協働による人材育成機能強化

- ・大学の教育プログラム策定等における企業、自治体の参画促進
- ・重点分野を扱う国内外大学等、研究機関、自治体等のネットワーク型拠点の構築
- ・ジョブ型インターンシップの実施・拡大
- ・企業や官公庁における修士・博士人材の採用・任用強化
- ・企業における人材育成への投資の促進
- ・地方自治体と高等教育機関の連携強化促進

(7) デジタル技術を駆使したハイブリッド型教育の転換

- ・知識と知恵を得るハイブリッド型教育への転換促進(オンライン授業規制特例など)
- ・専門教科書の電子化促進

(8) 大学法人のガバナンス強化

- ・社会のニーズを踏まえた大学法人運営の規律強化
- ・世界と伍する研究大学の形成に向けた外部専門人材(経営、財務等の知見を持つ有識者)の経営参画の推進

(9) 初等中等教育の充実

- ・初等中等教育の充実(理数・情報、ものづくり、農学・生命科学、問題発見・解決学習、探究学習、身近な人や自然と関わる体験活動、オンラインの利点を活用した教育の充実など)
- ・地域・家庭の連携による教育の推進

2. 新たな時代に対応する学びの支援の充実

- ・ 大学卒業後の所得に応じた「出世払い」を含む、教育費等への支援（恒久的な財源の裏付けの観点を念頭に置く必要）
- ・ 自治体や企業による奨学金の返還支援
- ・ 博士課程学生に対する支援の充実

3. 学び直し（リカレント教育）を促進するための環境整備

（1）学び直し成果の適切な評価

- ・ 学習歴の可視化
- ・ 企業や地域が必要とする人材（知識・素養・マインド）の明示促進
- ・ 学びの成果が転職・キャリアアップ・収入増につながる企業等の評価

（2）学ぶ意欲がある人への支援の充実や環境整備

- ・ DX を活用した教育体制の構築、高齢者等のデジタル活用支援
- ・ 費用、時間等の問題を解決するための支援
- ・ 職場を離れてリカレント教育を受けた者が円滑に職に戻るための支援

（3）企業・教育機関・自治体等の連携による体制整備

- ・ 大学等における社会人向けプログラムや支援策の情報発信
- ・ 企業等による人材育成への支援（企業内での計画的な人材育成、ファクトリーサイエンティストの育成など）
- ・ 企業や地域におけるデジタル分野等の人材育成のための大学等の貢献など産学官の多様で柔軟な連携
- ・ 自治体等における課題解決のためのデジタル人材の育成・確保

以上